

第4回日米インフラフォーラム 結果概要

1. 挨拶（赤羽大臣、ブティージェッジ長官、ホルコム州知事）

- 赤羽国土交通大臣より、スマートシティ、スマートモビリティ・自動運転、効率的なインフラメンテナンスなどの新技術・デジタル技術の活用、次世代エネルギーの活用、FOIPの推進等に関してインフラ分野における日米の協力を呼びかけました。
- ブティージェッジ運輸長官から、本フォーラムで焦点が充てられる運輸部門における脱炭素化やスマートシティ・自動運転などは米国の政策目標達成のための努力と合致する旨とともに、本フォーラムでの議論は日米間の更なるパートナーシップの基盤となる旨発言がありました。
- ホルコム インディアナ州知事より、インディアナ州が自動運転等の新技術の活用を推進する方針であるとともに、同州に進出している多くの日本企業と今後とも協力したい旨発言がありました。

2. 基調講演

- 国土交通省より、日本のインフラ海外展開において、イノベーション（デジタル技術の活用）、グリーン成長、FOIPの推進の観点を重視している旨を述べるとともに、日本の取組を紹介し、今後の米国との協力への期待を伝達しました。
- インディアナ州運輸省等より、オハイオ州と共同で実施しているスマート物流に関する取組や、電気自動車・自動運転に関する取組について講演がありました。

3. プレゼンテーション

- 日本企業等から以下の内容について講演がありました。
 - i) パナソニック・ノースアメリカ
ユタ州、コロラド州、ジョージア州で実施中のコネクティッドカーを活用したスマートモビリティ事業
 - ii) NEXCO-West US, Inc.
車載カメラを活用した道路・橋梁の点検技術
 - iii) シミズ・アメリカ社
ドローンを活用した点検技術、橋梁老朽化診断及びスマートシティ事業
 - iv) 大林組
次世代エネルギー（バイオマス、地熱、水素）を活用した発電事業、シリコンバレーとの協働による新技術の開発、米国における土木分野での事業実績
 - v) 海外交通・都市開発事業支援機構（JOIN）
JOINが投資している東南アジアにおける都市開発事業等

4. 閉会挨拶

国土交通省より、フォーラムを契機として、インフラ分野においても、気候変動やイノベーション等の国際社会共通の課題の解決に日米両国で取り組みたい旨発言がありました。